

II 調査事業

事業番号	1	分野名	環境保全	予算区分	国庫
事業名	酸性雨等森林衰退モニタリング事業				
担当者名	長嶋恵里子			事業期間	平成16年度～

1 調査のねらい

本事業は、「酸性雨長期モニタリング計画」に基づき、日本の代表的な森林のベースラインデータの確立及び酸性雨による生態系への影響を早期に把握するため、森林モニタリング（樹木衰退度調査）を実施することを目的に、環境省の委託事業で行う調査である。

2 調査の達成目標

日光国立公園内の植生モニタリング地点において、樹木衰退度の経年変化を調査することにより、大気汚染や酸性雨等による森林への影響の早期発見が可能となる。

3 当該年度の調査概要

設定された永久調査地点において、中心から12m離れた東西南北の4地点周辺で、優占木各5本を無作為に選定し、合計20本の樹木をモニタリング対象樹木とする。対象木について、樹高・胸高直径のほか、樹勢や梢端の枯損等の有無について観察を行った。調査結果は下表のとおりである。

No.311 のブナについて、若干樹勢の衰えが観察されたが、樹皮表面に虫喰いが見られ、酸性雨による影響ではないと考えられる。また、8本の調査木に若干の樹形の乱れが見られ、そのうち1本は、梢端の枯損も多少見られたが、いずれもあまり目立つものではなかった。これらの結果から、酸性雨による影響とは判断できず、経過を観察することとする。

土壌・植生 E) 樹木衰退度調査表 (EANETサブマニュアルに対応した改訂様式)

地点名:日光中禅寺湖畔 狸窪

機関名:栃木県林業センター

報告者名:長嶋 恵里子

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	
樹種名 (和名)	アオダモ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	オオイタヤマメイゲツ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	アオダモ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	
(学名) 記入しにくい場合は別表でも良い	<i>lanuginosa</i>	<i>Fraxinus</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>lanuginosa</i>	<i>Fraxinus</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	-		+	-		+		+										+			
樹高 (m)	17.9	22.7	30.7	8.4	21.5	32.7	19.7	39.8	28.4	23.7	15.4	26.2	27.7	35.1	38.0	10.7	18.6	11.8	14.0	12.2	
胸高直径 (cm)	18.9	28.5	65.0	19.6	31.7	82.5	20.6	52.1	28.2	43.2	21.2	60.5	36.8	30.6	30.1	35.7	41.2	19.3	24.2	30.8	
樹勢																					1
樹形				1	1			1				1				1	1			1	1
枝の生長量																					
梢端の枯損																					1
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

※空欄は、「正常」とする。

※樹勢 1:いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない

※樹形 1:若干の乱れはあるが、自然形に近い

※梢端の枯損 1:多少あるが、目立たない